



月刊バイブル（世界のベストセラー、聖書のトリビア）

第20号

発行:レムナントキリスト教会

価格:100円（送料込みで200円）

〔目次〕

- ◎聖書からのメッセージ:神を恐れる エレミヤ
- ◎高ぶりを打ち砕く:進化論の誤り(16)「進化は確率的に有り得ない」
- ◎箴言から学ぼう!:キリスト私たちの罪のために死んでくださった
- ◎キリストを信じた体験談:救い
- ◎聖書に関する偉人のことば:サルトル
- ◎ご案内:聖書贈呈、聖書通信講座

<聖書からのメッセージ >

神を恐れる
by エレミヤ

〔聖書箇所〕Ⅱコリント人への手紙5:10,11
5:10 なぜなら、私たちはみな、キリストのさばきの座に現われて、善であれ悪であれ、各自その肉体にあってした行為に応じて報いを受けることになるからです。

5:11 こういうわけで、私たちは、主を恐れることを知っているのです。人々を説得しようとするのです。私たちのことは、神の御前に明らかです。しかし、あなたがたの良心にも明らかになることが、私の望みです。

今回は、「神を恐れる」という題で、メッセージをしたいと思います。

<無視してはいけない戒め>

世の中には色々な決まり事、規則、注意文、

教えがあり、それらで満ちています。学校、会社、また、地域でもあらゆる種類の決まり事があります。それらはすべて守るべきなのでしょうが、実際問題、私たちはそんなに何もかも覚えていられません。そして特に気にしなくても、大きな実害のない規則もあります。

私の住んでいる市には、市の憲章があるようで、市の施設の前に憲章の書かれた碑があります。「私たちXX市民は健康で文化的に生活し、また、世界平和に貢献し・・・」などと書いてあります。これはたしかにもっともな文章なのですが、しかしこの文を覚えてどうするのか？忘れたとしてもあまり大きな実害はなさそうです。

しかし世の中には、この文のようにどうでもよいような文や規則ばかりが存在するのではなく、もし、私たちが正しく守らないと、自分の利害や損得に大いに関係する規則も

神を恐れる エレミヤ

あります。

たとえば、運転免許を取得したら、交通規則を覚えて守ることは必須です。私は18歳の頃、かねてから欲しかった原付バイクの免許を取得しました。そして当時3万円のお金を出して、中古のバイクを購入したのです。そしてそのバイクを連日軽快に乗り回していました。

ある時バイクで家の近くの坂道を下っていました。人気のない道です。その坂を降り切ったところで、少し広い道に突き当たるようになっており、その前に一時停止の標識が立っていました。たしかに標識には一時停止と書いてあったのですが、坂を下って来てスピードがついた後なので、完全にバイクの車体を停止するには少し無理がありました。ブレーキをかけたものの、なかなかバイクは止まらず、スピードを下げつつ徐行という感じで、スローにその道を曲がっていったのです。私の心の中には、「めったに車の通らない道だし、ミラーを見たら、何も車は来ていないから真面目に停止しなくてもまあいいか。」そんな判断もあったのでしょ。

ところが、何と曲がった先にお巡りさんが立っており、私は一時停止違反の現行犯、ということになってしまったのです。なげなしの罰金大枚1万円を払いながら、無視してはいけない法規、無視してはいけない標識に関して思いめぐらされたのでした。

繰り返して書くようですが、世の中にはあらゆる法規や注意文、規則があります。その中には守らないと自分の身に害をもたらしたり、直接利害に関係するような規則が存在します。これらに対しては決して無視したりせず、逆にそれを尊重し、注意を払うべきなのです。もし、運転をするなら、交通法規に目をとめ、標識を守るべきです。その理由は、もし、違反すると高い罰金を払うようになるからです。交通法規とは単に文字で書かれている、というだけではなく、実効性があるのです。それは空文ではなく、それは書かれた

ように実行され、違反者は高い罰金を払うようになるからなのです。守るべきであり、尊重するべきなのです。

<聖書の教えは、軽視すべきではない>

さて、と聖書の話になるのですが、私は聖書に書かれた神のことば、また、聖書の中で私たちの行く末に関して書かれたことばは、意味の無いもの、実効性の無いもの、空文とは思わず、逆に大いに尊重すべきであると思っています。

その理由は聖書に書かれたこと、預言されたこと、宣言されたことはみな、どれもこれも必ず実行されるようになるからです。この書は空文を連ねたり、妄想や実効性の無いことばが連ねられているわけではなく、逆に聖書に書かれたどのようなことばも実行されるからです。キリスト御自身、聖書のすべてのことばが必ず実行される、としてこう言われました。

[聖書箇所]マタイの福音書24:35

24:35 この天地は滅び去ります。しかし、わたしのことばは決して滅びることがありません。

日本の人々にはあまり知られていないかも知れませんが、聖書には未来を語る預言のことばが多く含まれています。数千もの預言が書かれています。そしてそれらの預言はみな成就してきました。まだ、その時に至ってないため実現していない預言はありますが、外れた預言はまだ一つも無いのです。

交通法規を取り締まるお巡りさんは、違反者を一人も見逃さず、捕らえて罰金を払わせます。有言実行なのです。同じく聖書も、否、聖書こそ有言実行の書であり、書かれたことばはどれもこれもみな、実行されてきたのです。

神を恐れる エレミヤ

<イエス・キリストの語られた預言>

成就した聖書の預言、それは沢山あるのですが、今回は例として、キリストの語られた預言を挙げましょう。以下を見てください。

[聖書箇所]ルカの福音書19:41-44

19:41 エルサレムに近くなったころ、都を見られたイエスは、その都のために泣いて、

19:42 言われた。「おまえも、もし、この日のうちに、平和のを知っていたのなら。しかし今は、そのことがおまえの目から隠されている。

19:43 やがておまえの敵が、おまえに対して壘を築き、回りを取り巻き、四方から攻め寄せ、

19:44 そしておまえとその中の子どもたちを地にたたきつけ、おまえの中で、一つの石もほかの石の上に積みたままでは残されない日が、やって来る。それはおまえが、神の訪れの時を知らなかったからだ。

キリストはこのようにエルサレムの町に関して嘆き、預言しました。この時、すなわちキリストがこのことばを語ったのは西暦30年のことでした。そしてこのキリストのことばは、その後正確に成就するようになります。このキリストの預言はキリストの死後40年後である西暦70年に成就しました。その年エルサレムの町はローマに包囲され、エルサレムの民は最後の一人まで殺されてしまったのです。エルサレムの宮は一つの石も他の石の上に残らないように、徹底的に破壊されてしまったのです。まさにキリストの預言のことば通りの出来事が起こったのです。

なぜ、エルサレムはこのような凄まじい破壊を受けたのでしょうか？その理由は、彼らが神から遣わされたキリストを受け入れず、逆に彼を逮捕し、十字架で殺したからなのです。これらの悪業に対する神の凄まじい怒りが燃え上がり、その罰として、この都は破壊されたのです。

このように聖書のことばは、単なる脅かしや実効性の無い空文が書かれているのではなく、それらのことばは神からのことばなので、

一つ残らず成就するのです。

ですから冒頭のことば、「**私たちはみな、キリストのさばきの座に現われて、善であれ悪であれ、各自その肉体にあった行為に応じて報いを受けることになるからです。**」とのことばも、聖書のことばなので、必ず実現する、私たちの人生に起きてくることなのだ、ということを感じましょう。このことばも単なる絵空事ではなく、実行されるのです。

ですので、「**こういうわけで、私たちは、主を恐れることを知っているのです、人々を説得しようとするのです。**」と書かれていますように、神を軽視することなく、神を恐れることが正しいのです。

聖書によるならば、神は私たちの罪が解決するよう、また、私たちが自分の罪のため、死後恐ろしいさばきや罰に入らないために、救いの道を用意されました。それは、自分のたった一人の子であるイエス・キリストを通しての道です。神から遣わされたキリストは私たちの罪のために死なれ、また、よみがえりました。神はこのキリストを信じる人の罪が許され、罰を免れるための道を開かれたのです。ぜひ、この神のことばや方法を軽視せずに、耳を傾けましょう。



エルサレムは、キリストのことば通り滅んだ

高ぶりを打ち砕く:進化論の誤り(16)進化は確率的に有り得ない

人はどこから誕生したのか?その問題に関して聖書は「神が人を創造した」と述べます。しかし、日本においては学校で進化論が教えられており、人は猿から進化したと説きます。では、その進化論は正しいのか?それをこのシリーズで見えています。

進化論に関していくつかの面を見てきました。今まで見たどの面から見ても、人間や動植物が偶然に進化することは有り得ないことが分かるのですが、今回はさらにもう一面、確率論のことを考えてみましょう。

そもそも進化論者の言われるように、原始的な単純な生命や細胞が、偶然に出来上がる確率ということを考えてみたいと思うのです。

権威ある様々な研究者が感じていることは、偶然やどの自然の作用によっても、生命に必要なタンパク質は決して生じ得なかったということが、疑いの余地無く証明されているということです。化学者であるワイルダー・スミス博士はこの問題について、**「このような原始スープの中で、生命が自然発生し得なかったことは明白である。」**と述べています。

二人の有名な科学者が、自然の作用で生命が出来る確率を計算しました。彼らは、生命がランダムな試行で発生した確率は、10の4万乗分の1以下であると計算しました。10の4万乗分の1とは、1のあとに0が4万個つく数です。

このような低い確率の事柄が、どうして偶然に起きると想像出来るでしょうか?少し考えてみましょう。ほとんどの進化論者は、宇宙の年齢を300億年以下であるとしています。300億年は、途方もない長い時間ですので、その間なら、どのような複雑な進化も起こり得る、そのように初期の進化論者は考えていたのです。

しかし今ではそんなことは否定されています。と言うのは、もし宇宙が始まって300億年経っていたとしても、また、その300億年を秒数で測っても、それは10の18乗もない数だからです。10の18乗の秒の間に、10の4

万乗分の1の確率の事柄が起きはしないのです。全然計算が合いません。言い換えると、生命が偶然に出来る可能性はあまりにも低く、たとえ宇宙が始まって以来の長い間を考えても、その間にも決して起きない低い低い確率なのです。

進化に関して、化学者であるグリーブ博士はこのように言われています。**「過去の、そして現在の生命の複雑さが有機物の進化によるものであるという考えは、DNAの遺伝暗号の重要性を理解する人々によって、とうの昔に捨てられている。」**と述べています。

進化論者であるマイケル・デントンは言います。

「知られている最も単純な細胞でさえ極めて複雑であるため、そのような物体がある種の気まぐれな、極めて起こりそうにない出来事によって、突然寄せ集められて出来上がったということを信じるのは不可能です。そのような出来事は奇跡と区別が出来ません。」

有名な科学者であるフレッド・ホイル卿は、この点で創造論者と意見が一致しています。彼は次のように言ったと伝えられています。

「最初の細胞が偶然に生じたと考えることは、廃品置き場を通り過ぎる竜巻によって、そこにある材料からボーイング747が出来上がることを信じるようなものです。生きている細胞のプログラムが地球上の原始スープの中で偶然に出来上がったという考えは、明らかにナンセンスです。」

ほとんどではないとしても、生命の起源を研究する多くの科学者が、今やホイルに同意しています。生命は偶然や何らかの知られている自然の作用では、生じ得なかったということです。



人の命は偶然には生じない

箴言から学ぼう！:キリストは私たちの罪のために死んでくださった

〔聖書箇所〕箴言20:9

20:9 だれが、「私は自分の心をきよめた。私は罪からきよめられた。」と言うことができよう。

ここで、「罪」ということばが出てきます。「罪」なんて聞いても、法に関係するようなよほど大きな罪を犯さないかぎり、誰もがご自分とは無縁だという風に思われていると思います。しかし、今回のテーマに掲げましたように、イエス・キリストは私たちの罪のために死なれたことを聖書では述べています。以下が、その記述です。

〔聖書箇所〕I コリント人への手紙15:3

15:3 私があなたがたに最も大切なこととして伝えたのは、私も受けたことであって、次のことです。キリストは、聖書の示すとおりに、私たちの罪のために死なれたこと、

「キリストは、聖書の示すとおりに、私たちの罪のために死なれた」ということを言われています。そして著者をはじめ、すべてのクリスチャンはこのことを信じています。私たちは誰もが元々はノンクリスチャンだったわけですが・・・しかし、このことをどこかで聞いて、そして信じてクリスチャンになったのです。

最近、エレミヤ牧師を通して、クリスチャンになるための条件についての学びをしたのですが・・・その時にエレミヤ牧師が3つのポイントについて述べておりました。

- ①キリストは、聖書の示すとおりに、私たちの罪のために死なれた。
- ②葬られた。
- ③聖書に従って三日目によみがえられた。

以上の点について話をされていたのですが・・・この3点を信じるなら、救われてクリスチャンになれますよ～、ということをおっしゃっていました。そして私たちクリスチ

ヤンは、これらの3つのことを信じて救われて、クリスチャンになることが出来ました。

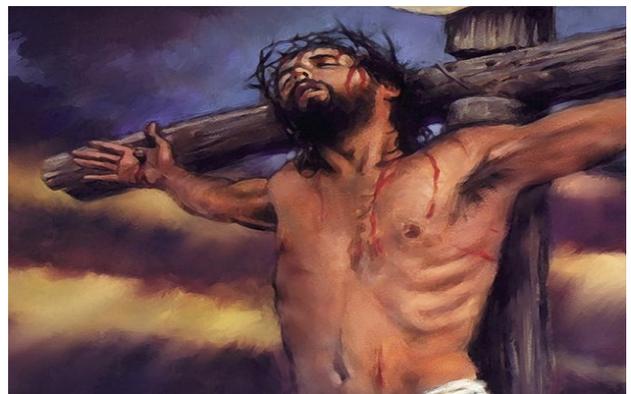
そして今回は、①にありますように、イエス・キリストは私たちの罪のために死んでくださった、ということに関して話をさせていただいているのですが・・・私たちが自覚しようとしまいと、しかし聖書は、私たちには、誰にでも大なり小なり罪がある、ということを一面語っております。以下、そのことを語っています。

〔聖書箇所〕I ヨハネの手紙 1:8

1:8 もし、罪はないと言うなら、私たちは自分を欺いており、真理は私たちのうちにありません。

* 欺いており(KJV訳):思い違いをしており

上記にありますように、もし、罪はありません！と言ってしまう場合に、それは思い違いをしていますよ～、ということ言われています。つまり、私たちに罪がある、ということ、この箇所において語っているわけでありまして・・・そして、そのような私たちの罪のために、イエス・キリストは十字架に掛かって死んでくださった、という事実について、よろしければご理解いただけましたら幸いに思います。



私たちの罪のために死んでくださったイエス・キリスト

キリストを信じた体験談:救い

私は学生時代に洗礼を受けて、クリスチャンとしての歩みが始まったのですが・・・しかし、実際に、イエスさまにはじめて出会ったのは、11歳の時でした。当時の私は、子どもだったということもあり、宗教のことを気にしたことはほとんどありませんでした。でも、家が仏教徒でしたので、私もそれなりに、神さまの存在というのは信じていました。ですので、年が明けると決まって、神社へ行って祈願をしていました。また、その頃は、仏壇は無かったのですが、床の間に神さまを祭るようなものがありましたので、一日一回、供え物を置いていくついでに、何か特別祈っていたわけではなかったのですが、手を合わせていました。

そんなこんなで、キリスト教とは無縁の私だったのですが・・・ちょうどその頃、母がよく、私に伝記を買ってきてくれました。元々本を読むのは苦手なタイプだったのですが、しかし、なぜだか、伝記は比較的興味を持って読むことが出来ました。そして、さいごに手渡されたのが、「キリスト」というタイトルのものでした。著者はクリスチャンだったと思います。でも、不思議なことに、なかなか読む気持ちになれませんでした。他の人たちのものは受け取ると、大体その日に、あるいは、遅くとも翌日には読み出すのですが、「キリスト」の伝記だけはしばらくの間、放っておいたと思います。しかも、「これは別に読まなくてもいいかな。自分とは関係無さそうだし・・・」という思いがありました。そうなんです。仏教徒の自分に、キリスト教は何の関わりも無いのだから、読んでもう仕方が無い、と思ったのでしょう。

でも・・・せつかく、母が買ってきてくれたのだから、読まないといけないかなあ・・・という思いも心の片隅にありました。それで、ようやく意を決して、思い切って読んでみることにしました。自分の知らない世界で、しかもおおよそ、生涯無縁であろう・・・と、いう思いで、恐る恐るページをめくっていきました。

読み進めていく中で、何かこう、不思議な思いに包まれていきました。その当時は、分かっていますでしたが、今にして思うと、児童向けのものとは

いえ、かなり聖書に忠実に書かれていました。誕生からはじまって、イエス・キリストの生涯について書かれていたのですが、読んでいくうちに、次第に心がイエス・キリストに惹き付けられていくのです。それまでの伝記では、そのようなことはありませんでした。たしかに、どの人も素晴らしい人物でしたし、ずば抜けた能力を持っていたりと、それなりに感動するものはあったのですが、イエス・キリストは別格でした。話の中で人々の病気を癒したり、困っている人たちを助けたり、また、五千人の人々に食べ物を与えたり、ということが書かれていて、そのことが私の心の奥底に染み入るものがあったのです。

キリスト教に触れたことの無い私ではありましたが、そういったことを通して、ある種の衝撃を覚えたのです。そして、聖書でもそのようなのですが・・・その伝記のクライマックスも、まさにイエス・キリストが十字架に掛かる場面なのですが・・・その時に、なぜ、何の罪も無いイエス・キリストが、十字架に掛かって死ななければならないのか？という思いで胸が熱くなり、号泣したことを覚えています。その後、三日目によみがえり、マグダラのマリヤをはじめ、弟子たちに現われたこと、そして天国へ帰って行ったことについて書かれていました。

このことを、まだ、幼かった私が、しかも、それまで一度もキリスト教に触れたことのなかった私でしたが、しかし、不思議なことに、すべてのことを事実として信じる事が出来たのです。ひとつは、イエス・キリストが私をはじめとするすべての人の罪のために死なれた、ということです。また、死んで、それでお終いではなく、三日目によみがえった（復活された）、ということです。さらに、マグダラのマリヤやペテロやヨハネをはじめとする弟子たちに現われて、昇天（天国へ帰る）されたことを、理屈抜きに信じる事が出来たのです。

その当時は、何も分かっていなかったのですが・・・しかし、のちになって、これらのことを信じる事が、キリスト教で言われる、「救い」である、ということを理解しました。キリスト教や聖書に関する特別な知識は何も無くても、しかし、イエ

キリストを信じた体験談:救い

ス・キリストが私たちの罪のために十字架に掛かって死なれたこと、そして三日目によみがえった（復活された）ことを信じるなら、救われる、ということを知りました。

そして、先日の集会で、エレミヤ牧師が「福音」というテーマに沿って話をされていました。それは、かつての私のように、元々はクリスチャンではない人が、どうしたら救われるか？というコンテンツでした。そして、救われることというのは、非常に単純明快なことで・・・先ほどの体験談と重複するのですが、イエス・キリストが私たちの罪のために死なれ、三日目によみがえられた（復活された）ことを信じるなら、救われる、ということをお話されていました。

話は体験談に戻りますが・・・それで、実際に私は救われたのですが・・・だからと言って、すぐに教会に結び付いたわけではなくて・・・しかし、それから数年後、知り合いの関係で、17歳の時にはじめて教会に行きました。さらにほどなくして、外国から来られていた伝道者をきっかけに、近所の教会へ行くことになりました。それは家族を介してのことだったのですが、じつはその時に、教会ということを知らされていなくて・・・しかし実際に行ってみたら、そこは教会だったのです。すでに救われていたとはいえ、教会とイエス・キリストが結び付いていなかった私は、はじめは抵抗を感じていたのですが、でも、何回か行く中で、かつて読んだ伝記のことと、教会のことが次第に結び付くようになり、クリスチャンになる決心をして、その一年後には洗礼を受けて、クリスチャンになることが出来ました。

そして、エレミヤ牧師がメッセージの中で語られていたのですが・・・**「私は、救われたことによって、のちにすごい力を与えられました。私は、クリスチャンの集まるキャンプで救われました。そして、だんだんとそのことを実感するようになり、人生が変わりました。この世の価値観から脱することが出来ましたし、価値観が全く変えられたのです。」**ということをおられて・・・私もこのことに同感ですし、同調しているのですが・・・救われると、不思議な神さまの

力とか助けとかを受けたり、場合によっては、わざをも見たりすることが出来る、ということを経験していると思います。

この文章を読まれている方で・・・救われたい！と思われていましたら、ぜひ、イエス・キリストが私たちの罪のために死なれたこと、そして、三日目によみがえられた（復活）ことを信じてください。そうするなら、救われます。これは、聖書に書かれていることですので・・・事実なので、信じて実践してみてください。そして、救われたのちには、エレミヤ牧師がおっしゃっていましたように、神さまのすごい力、というのを体験出来ますので、よろしければ、ぜひ、おすすめ致します。さいごに、救いに関する聖書のことばをお読みして、証（体験談）を終わらせていただきたいと思います。

【聖書箇所】ローマ人への手紙10:9,10

10:9 **なぜなら、もしあなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせてくださったと信じるなら、あなたは救われるからです。**
10:10 **人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。**



三日目によみがえられて、マグダラのマリヤの前に現れたイエス・キリスト

聖書に関する偉人のことば:サルトルのことば／お知らせコーナー

<聖書と偉人>

フランスの哲学者、小説家。



サルトル

私は自分が偶然の産物、宇宙のほこりだとは思わない。むしろだれかに期待され備えられ予示された存在、つまり創造者である神だけがここに置くことができた存在だと思う。

<お知らせコーナー>

●聖書贈呈プレゼント！聖書通信講座！

月刊バイブルお読みになっていかがでしたか？少し、聖書に興味がわいてきましたでしょうか？このたび、当教会では聖書贈呈、プレゼントを行っています。この機会に聖書をあなたも読んでみませんか？また、ご希望の方には、聖書通信講座も開設しました。申込者全員へ、贈呈可能です。ご興味がありましたら、ぜひ、お申し込みください。

以下を記載の上、mail:truth216@nifty.com もしくは fax:020-4623-5255 もしくは tel:042-364-2327 へ連絡ください。

- (1) 聖書贈呈に申し込みます。
 - (2) 聖書通信講座に申し込みます。
- *ご希望の番号に○をつけてください。(複数可)

郵便番号:

住所:

名前:



見本

●レムナントキリスト教会「日曜礼拝」のご案内

曜日/時間:毎週日曜日/午前 10:30-12:30,午後 14:00-16:00

場所:東京都、京王線府中駅前、府中グリーンプラザ本館 (tel:042-360-3311)

1F のエレベーター脇の部屋表示板で、「レムナントキリスト教会」の部屋を確認ください。

どなたでも来会歓迎、入場無料です。tel:042-364-2327, mail:truth216@nifty.com

★教会のHPもあります。

ご興味のある方は、“Yahoo! Japan”で、「府中 レムナントキリスト教会」で検索ください。

尚、レムナントキリスト教会はプロテスタントの教会です。ものみの塔や統一教会とは関係ありません。

☆クリスチャンになったばかりの方やノンクリスチャンの方におすすめのサイト:オリーブ&ミルトス

<http://remnantnotudoi.jimdo.com/>

☆ノンクリスチャン向けへのブログサイト:パンの家

<http://87494333.at.webry.info/>

☆クリスチャンの方におすすめのサイト:エレミヤの部屋

<http://www.geocities.co.jp/Technopolis/6810/>

☆クリスチャン向けへのブログサイト:終末の風

<http://whattopics.at.webry.info/>